

言語学

注意：日本語を母語としない受験者は英語で解答することも可能です。

(1) 日本語に形容動詞という品詞を認めるべきか否かについて、以下の表現のいくつかに言及しつつ自分の考えを述べなさい。具体例は適宜追加してよい。なお、品詞として認める場合、形容詞の低位類とするか否かを問題にする必要はない。

大切なのは健康だ。

あの人は健康だ。

健康な人

健康の大切さ

青い空

緑の木々

COVID-19は病気だ。

あの人は病気だ。

病気の名前

重い病気

あの人は重い病気だ。

重い病気の人

a bright red dress

light blue eyes

(2) 次の(a)から(c)の各種の音について、国際音声記号(IPA)を用いて例を挙げつつ、調音におけるメカニズムをそれぞれ100字程度で説明しなさい。

(a) 破擦音 (affricate)

(b) 無声鼻音 (voiceless nasal)

(c) 中舌母音 (central vowel)

(3) 次に例を挙げる言語Aは音素 $aiuptkqvslmng$ をもつ。この言語では、名詞語幹に接尾辞を付加して格形などを表示する。例(1)から(10)について、設問(a)から(c)に答えなさい。表記は音素表記であり、音声表記ではない。なお語幹は単一であり、付加される接尾辞も単一の形であると想定すること。

meaning	absolute	plural	relative	third singular	locative
(1) house	illu	illut	illup	illua	illummi
(2) wound	iki	ikit	ikip	ikia	ikimi
(3) ear	siut	siutit	siutip	siutaa	siutimi
(4) baleen	suqqaq	suqqaat	suqqaap	suqqa	suqqarmi
(5) son	irniq	irnirit	irnirup	irnira	irnirmi
(6) person	inuk	inuit	inuup	inua	inummi
(7) knife	savik	saviit	saviup	savia	savimmi
(8) foot	isigak	isikkat	isikkap	isigaa	isikkami
(9) tent	tupiq	tuqqit	tuqqup	tuqqa	tupirmi
(10) boot	kamik	kammit	kammup	kamma	kamimmi

(a) (1) ~ (10) の名詞の語幹を抽出しなさい。必要なら表層形に現れない形を語幹として措定してもよい。

(b) この言語の形態音韻規則を 3 つ書きなさい。

(c) この言語の音素 r はどのような音であると考えられるか。交替パターンをもとに論じなさい。

(4) 語とは何かを具体例に基づきながら 1 ページ程度で論じなさい。その際に、「文法語」、「音韻語」、「語根」、「接辞」、「接語」の用語を用い、用いた箇所には下線を引きなさい。

(5) 以下の言語学用語を、例を挙げつつ簡潔に説明しなさい。

(a) 共感度階層 (empathy hierarchy)

(b) 音韻規則の形態化 (morphologization of a phonological rule)

(c) 舌尖音と舌端音 (apicals and laminals)

(d) 分裂自動詞性 (split intransitivity)

【以上】